

神奈川県古墳(Ⅷ)

— 神奈川県古墳地名表(6) —

稲村 繁*

Tumuli of Kanagawa Prefecture(Ⅷ)

— List of Tumuli in Kanagawa Prefecture(6) —

Shigeru INAMURA

The locations and names of approximately 850 tumuli have been confirmed in Kanagawa Prefecture up to now.

In comparison with tumuli in the areas known for more tumuli, like Gunma Prefecture and Chiba Prefecture in the same Kanto Region, not only the total number of the tumuli, but also the both numbers of the tumuli constructed in the early through the middle period and the larger-scale tumuli are less in Kanagawa Prefecture than in Gunma and Chiba.

Furthermore, what is pointed out as other regional features in Kanagawa is the total number of tumuli is less in the coastal area, but is more in the inland areas centering at the piedmont area of Mt. Tanzawa.

This paper is intended to compile data of the tumuli into a list and to explain the respective tumuli in Kanagawa Prefecture. However, as the total number of the tumuli in the prefecture is still large, the whole prefecture area is to be divided into several areas and this Part (6) lists up and explains the tumuli in the western area of Atsugi City.

神奈川県内では現在までのところ 850 基ほどの古墳が確認されている。同じ関東地方内でも群馬県・千葉県など有力な地域と比較すると、基数ばかりでなく前期～中期の古墳、大形墳などいずれにおいても築造数が少ない。また、沿岸部には高塚墳が少なく、丹沢山麓を中心とした内陸部に多く分布するのが地域的特徴としてあげられる。

本稿ではこれら神奈川県内の古墳について集成をおこなうが、基数が多いためいくつかの地域にわけることとし、今回は厚木市の西部域をとりあげる。内容については以下の凡例に従うが、特記事項がある場合には備考欄に記した。

* 横須賀市自然・人文博物館 Yokosuka City Museum, Yokosuka, 238-0016 Japan.
原稿受付 2016年8月10日 横須賀市博物館業績 第707号
Key Words: Tumuli, Kanagawa Prefecture, Atsugi City
キーワード: 古墳, 神奈川県, 厚木市

凡 例

[群]古墳群名	[副]副葬品の品目
[所]所在地	[伴]伴出品の品目
[立]立地	[埴]埴輪の有無と種類
[形]墳形	[時]築造時期
[周]周溝の有無	[文]参考文献
[規]墳丘規模	[備]備考
[埋]埋葬施設の種類	

- * 1 古墳の別称は()内に記した。また、下段には厚木高校歴史研究部1960での名称を[]で、厚木市教育委員会1976での名称をくゝで、厚木市文化財協会1998での名称を()で併記した。
- * 2 古墳と確認されていないが、埋葬施設や副葬品・埴輪などの出土遺物、あるいは墳丘の現状からその可能性が高いものについては、古墳名のあとに*印を付した。
- * 3 [群]群名のあとの()内数字は、確認された古墳の基数。また、群を構成するものの古墳群名がないものについては単に古墳群とした。
- * 4 [周]墳丘を巡らず、丘陵を切断する溝のみがみられる場合は区画溝とした。
- * 5 [規]は周溝を含まない墳丘の規模。()内数字は現状での規模、推は推定規模。このなかで径は直径、長は全長、後径は後円部直径、前長は前方部長、辺は一辺の長さ、高は高さを指す。
- * 6 [伴]では、古墳に関する遺物のうち横穴式石室の前庭部出土を(前庭)、周溝内出土を(周溝)、区画溝内出土を(区画)、周溝・区画溝以外の墳丘裾部出土を(墳裾)、墳頂部出土を(墳頂)、墳丘面出土を(墳面)、墳丘内出土を(墳内)、墳丘内墓壙上面出土を(壙上)、墳丘下旧表土面出土を(墳下)として末尾に記した。
- * 7 [時]については、早期・前期・中期・後期・終末期の5区分としたが、早期はおおむね3世紀後半代、前期は4世紀代、中期は5世紀代、後期は5世紀末葉～6世紀代、終末期は7世紀代～8世紀初頭である。時期決定にあたってはおもに埴輪の川西宏幸編年(川西宏幸1978)、須恵器の田辺昭三編年(田辺昭三1981)などを参考としたが、これによってさらに時期の

特定が可能なものについては初頭・前葉・中葉・後葉・末葉，または前半・後半などを()内に記した。

- * 8 調査はおこなわれているものの，未報告のため詳細が不明な項目については不詳とした。なお，報告書が刊行され次第追補をおこなう。
- * 9 すでに集成が完了した地域での新規登録や，内容の追加・修正は補遺として巻末に付す。

厚 木 市

登山 1 号墳 (425) どうやま 1 ごうふん [群] 登山古墳群 (6 基以上)

<K-27>・(尼寺原地区 10 号墳)

[所] 厚木市飯山宇西登山 1648 付近 [立] 台地上 [形] 円墳 [周] 有り [規] 径 20 m [埋] 不明 [副] 不明 [伴] 不明 [埴] 円筒, 家, 水鳥, 人物, 馬 [時] 後期初頭 [文] 赤星直忠 1967, 神奈川県教育委員会 1970, 厚木市教育委員会 1976, 今津節生ほか 1992, 稲村繁ほか 1997, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備] 昭和 37(1962)年の一部調査で埴輪を確認。工員寮として削平されたため昭和 42(1967)年市教委が調査。周溝は火山灰により埋没。南西側周溝内より形象埴輪出土。なお、『かながわの埴輪』展示図録地名表中には埴輪が採集されたとして登山西古墳の名がみえる。しかし, 2~5号墳はいずれも埴輪を伴わず, 立地も古墳群の北端に位置している。調査された1号墳の西方には登山遺跡が所在するが, 古墳は確認されていない。採集されたとされる埴輪が確認できないことから, 1号墳の西方に埴輪を伴う別の古墳が存在したのか, あるいは1号墳の埴輪が何らかの理由で西方に移動したものかは不明である。

登山 2 号墳 (426) どうやま 2 ごうふん [群] 登山古墳群 (6 基以上)

<K-38>・(尼寺原地区 25 号墳)

[所] 厚木市飯山宇西登山 1616 付近 [立] 台地端 [形] 円墳 [周] 有り [規] 径約 13 m [埋] 横穴式石室(長 3.5 m) [副] ガラス小玉 39, 刀子片, 鉄鏃片 [伴] 不明 [埴] なし [時] 後期~終末期 [文] 厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998, 平本元一 2000 [備] 横穴式石室は狭長無袖式。玄室床面は玉砂利による礫敷。遺跡公園内に現存。

登山 3 号墳 (427) どうやま 3 ごうふん [群] 登山古墳群 (6 基以上)

<K-39>・(尼寺原地区 9 号墳)

[所] 厚木市飯山宇西登山 1616 付近 [立] 台地端 [形] 楕円墳 [周] 有り [規] 径約 13 × 10 m [埋] 横穴式石室(長 4.0m) [副] 刀子片 [伴] 不明 [埴] なし [時]

後期～終末期 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998, 平本元一 2000 [備]横穴式石室は狭長無袖式. 遺跡公園内に現存.
登山4号墳(428) どうやま4ごうふん [群]登山古墳群(6基以上)

<K-39>・(尼寺原地区8号墳)

[所]厚木市飯山字西登山 1616 付近 [立]台地端 [形]円墳? [周]有り [規]径(約 30 m) [埋]第1: 竪穴式石室(長 2.8 m)・第2: 竪穴式石室(長 2.5 m) [副]第1: 直刀片, 刀子片, 鞘尻片? 第2: 直刀, 鉄鏃 [伴]須恵器はそう(墳丘) [埴]なし [時]後期初頭 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998, 平本元一 2000 [備]墳丘の大半を失っているため墳形は不明. 並行する2基の竪穴式石室はともに河原石積み. 須恵器はそうは口縁部片で, TK47 ~ MT15 型式並行期. 遺跡公園内に現存.

登山5号墳(429) どうやま5ごうふん [群]登山古墳群(6基以上)

(尼寺原地区26号墳)

[所]厚木市飯山字西登山 1616 付近 [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径約 10 m [埋]横穴式石室 [副]刀子片 [伴]不明 [埴]なし [時]後期～終末期 [文]厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998, 平本元一 2000 [備]墳丘の北側を確認. 横穴式石室は狭長無袖式で玄室内は玉砂利の礫床. 遺跡公園内に現存.

登山6号墳(430) どうやま6ごうふん [群]登山古墳群(6基以上)

[所]厚木市飯山字西登山 1616 付近 [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径約 10 m [埋]石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]なし [時] [文]厚木市市史編さん室 1998, 平本元一 2000 [備]墳丘はすでに削平されているが, 中央に礫の一部が遺存することから, 埋葬施設は石室であった可能性が高い. 遺跡公園内に現存.

古墳*(431)こふん [群]

(尼寺原地区33号墳)

[所]厚木市飯山字辻の上 3546 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(約 3 m) [埋]不明 [副]直刀? [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]河原石多数露出. 過去に直刀が出土したが埋め戻したとされる.

古墳*(432)こふん [群]

<K-40>・(尼寺原地区1号墳)

[所]厚木市飯山字辻 4241 付近 [立]丘陵緩斜面 [形]円墳? [周]不明 [規]径(約 15.5 × 6.5 m) [埋]不明 [副]直刀, 鉄鏃 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]

古墳*(433)こふん [群]

(尼寺原地区28号墳)

[所]厚木市飯山字辻 4242 付近 [立]丘陵緩斜面 [形]円墳? [周]不明 [規]径(約 7.3 × 4.0 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]一部河原石露出.

古墳*(434)こふん [群]

(尼寺原地区 29 号墳)

[所]厚木市飯山字辻 4243 付近 [立]丘陵緩斜面 [形]円墳? [周]不明 [規]径(約 4.7 × 4.4 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]一部河原石露出.

古墳*(435)こふん [群]

[所]厚木市飯山字辻 4241 ~ 4243 付近 [立]丘陵緩斜面 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副](伝)管玉, 金釧, 直刀 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]神奈川県教育委員会 1995, 厚木市文化財協会 1998 [備]神奈川県教育委員会 1995 には, 尼寺原地区 1・28・29 号墳付近にもう 1 基あり, 管玉・金釧・直刀出土の伝えがあるが, 古墳はすでに消滅したとの記録あり.

古墳*(436)こふん [群]小鮎古墳群

<K-17>・(尼寺原地区 4 号墳)

[所]厚木市飯山字辻の上 3529-25 付近 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(約 8.0 × 7.4 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]河原石多数露出. 過去に直刀が出土したが埋め戻したとされる.

辻ノ上 1 古墳(437)つじのうえ1ごうふん [群]小鮎古墳群

<K-19>・(尼寺原地区 6 号墳)

[所]厚木市飯山字辻 3528 付近 [立]台地上 [形]円墳 [周]有り [規]径約 20 m [埋]横穴式石室 [副]勾玉 7, 管玉 1, 小玉, 直刀, 無窓鏝, 刀子 6, 鉄鏃 22 [伴]須恵器短頸壺 1・はそう(前庭) [埴]なし [時]終末期前半 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998 [備]横穴式石室は狭長無袖式.

辻ノ上 2 古墳(438)つじのうえ2ごうふん [群]小鮎古墳群

<K-18>・(尼寺原地区 5 号墳)

[所]厚木市飯山字辻 3528 付近 [立]台地上 [形]円墳 [周]有り [規]径約 14 m [埋]横穴式石室 [副]切子玉 3, 管玉 2, 丸玉・小玉約 100, 耳釧, 直刀 2, 無窓鏝, 鉄鏃, 刀子, 土師器 [伴]須恵器底部穿孔提瓶 1(周溝) [埴]なし [時]終末期前半 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998 [備]横穴式石室は狭長無袖式.

衣紋原古墳(439)えもんばらこふん [群]小鮎古墳群

<K-20>・(尼寺原地区 11 号墳)

[所]厚木市飯山字衣紋原 2406 [立]台地端 [形]円墳? [周]不明 [規]不明
[埋]横穴式石室 [副]琥珀棗玉 4, 管玉 2, ガラス小玉, 金銅環 4, 四鈴釧 1, 鉄鏃 3,
刀子 4, 砥石 [伴]不明 [埴]不明 [時]終末期前半 [文]厚木市教育委員会
1976, 神奈川県 1979 [備]横穴式石室は胴張式.

古墳*(440)こふん [群]

(尼寺原地区 32 号墳)

[所]厚木市飯山字衣紋原 2359 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(約 3.2
× 2.8 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文
化財協会 1998 [備]河原石を含むわずかな高まりが遺存.

古墳*(441)こふん [群]

<K-14>・(尼寺原地区 2 号墳)

[所]厚木市飯山字西台 2346 付近 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(7.3
× 6.3 m[1974 年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998
[備]1998 年にはすでに消滅.

古墳*(442)こふん [群]

<K-15>・(尼寺原地区 3 号墳)

[所]厚木市飯山字西台 2346 付近 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(9.0
× 7.0 m[1976 年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998
[備]尼寺原地区 2 号墳のすぐ南に所在. 1998 年にはすでに消滅.

古墳*(443)こふん [群]

(尼寺原地区 48 号墳)

[所]厚木市飯山字西台 2258 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(約 3 m)
[埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化
財協会 1998 [備]人頭大の河原石散乱するほか, 付近に大形石材が露出.

古墳*(444)こふん [群]

<K-41>・(尼寺原地区 7 号墳)

[所]厚木市飯山字東台 2346 付近 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(9.0
× 7.0 m[1975 年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明
[文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]尼寺原地区 2 号墳のす
ぐ南に所在. 1998 年にはすでに消滅.

古墳*(445)こふん [群]

<K-42>・(尼寺原地区 12 号墳)

[所]厚木市飯山字大塚 1700 付近 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]不明

[埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]飯田孝 1965, 鈴木茂 1966B, 歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998
[備]ゴルフ場のクラブハウス前に盛り土され現存.

大塚*(446)おおつか [群]

(尼寺原地区 13 号墳)

[所]厚木市飯山字大塚 1700 付近 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(10 m 以上[高さは人の背丈以上]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]飯田孝 1965, 厚木市文化財協会 1998 [備]尼寺原 12・13・49 号墳が並んでいたとされる. 飯田孝 1965 によれば, 昭和 37(1962)年初めに 4 基存在したが, ゴルフ場の整地工事のためその内 1 基をつぶした際長さ 1 m くらいの直刀が出土したとされる. 1998 年にはすでに消滅.

古墳*(447)こふん [群]

(尼寺原地区 49 号墳)

[所]厚木市飯山字大塚 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]飯田孝 1965, 厚木市文化財協会 1998 [備]1998 年にはすでに消滅.

古墳*(448)こふん [群]

(尼寺原地区 14 号墳)

[所]厚木市飯山字赤坂上 2058 付近 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]1998 年にはすでに消滅.

林王子遺跡第 1 号円墳址(449)はやしおうじいせきだい1ごうえんぶんし [群]

(尼寺原地区 15 号墳)

[所]厚木市林王子 2- [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径約 16 m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]なし [時]不明 [文]伊東秀吉ほか 1973, 厚木市市史編さん室 1993, 厚木市文化財協会 1998 [備]周溝の東側約半分は調査区外.

林王子遺跡第 2 号円墳址(450)はやしおうじいせきだい2ごうえんぶんし [群]

(尼寺原地区 16 号墳)

[所]厚木市林王子 2- [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径 9.8 × 9.7 m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]なし [時]不明 [文]伊東秀吉ほか 1973, 厚木市市史編さん室 1993, 厚木市文化財協会 1998 [備]周溝の東側約半分は調査区外.

林王子遺跡第 3 号円墳址(451)はやしおうじいせきだい3ごうえんぶんし [群]

(尼寺原地区 17 号墳)

[所]厚木市林王子 2- [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径約 12 m [埋]不明 [副]不明 [伴]須恵器 1(周溝) [埴]なし [時]後期中葉～後葉 [文]伊東

秀吉ほか 1973, 厚木市市史編さん室 1993, 厚木市文化財協会 1998 [備]須恵器坏は TK10 ~ MT85 型式並行期.

古墳 * (452) こふん [群]

<M-26>・(尼寺原地区 18 号墳)

[所]厚木市林字北 476 付近 [立]台地端 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]1998 年にはすでに消滅.

林天神遺跡 I 区 周溝状遺構 (453) はやしてんじんいせき I く しゅうこうじょういこう [群]

(尼寺原地区 19 号墳)

[所]厚木市林字天神 784 付近 [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径 23.0 m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]杉山博久 1984, 厚木市市史編さん室 1993, 厚木市文化財協会 1998 [備]ブリッジを付設する古墳跡. 弥生時代後期の堅穴式住居を切って周溝が掘り込まれている.

林天神遺跡 II 区 周溝状遺構 (454) はやしてんじんいせき II く しゅうこうじょういこう [群]

(尼寺原地区 20 号墳)

[所]厚木市林字天神 796 付近 [立]台地端 [形]円墳? [周]有り [規]径約 16 m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]杉山博久 1984, 厚木市市史編さん室 1993, 厚木市文化財協会 1998 [備]古墳跡. 古墳時代前期の堅穴式住居を切って周溝が掘り込まれている.

古墳 * (455) こふん [群]

(尼寺原地区 27 号墳)

[所]厚木市林字南 519 付近 [立]台地端 [形]円墳? [周]不明 [規]径(約 7.6 × 7.3 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]墳頂部に河原石露出.

天神山古墳 (456) てんじんやまこふん [群]

<N-14>・(尼寺原地区 23 号墳)

[所]厚木市戸室字寺ヶ岡 862 [立]台地上 [形]円墳? [周]有り [規]径(約 44 m)・高(約 5.5 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]中期? [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]未調査.

寺ヶ岡古墳 (457) てらがおかこふん [群]

<N-15>・(尼寺原地区 24 号墳)

[所]厚木市戸室字寺ヶ岡 837 付近 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]不

明 [埋]木棺直葬? [副]鉄剣 2, 直刀 2, 刀子 1 [伴]不明 [埴]不明 [時]中期後半 [文]厚木市教育委員会 1976, 中村喜代重 1983, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]付近より小形仿製鏡採集.

寺ヶ岡遺跡第 1 号周溝(458)てらがおかいせきだい1ごうしゅうこう [群]

(尼寺原地区 38 号墳)

[所]厚木市戸室字寺ヶ岡 843 [立]台地上 [形]円墳? [周]有り [規]径約 14 m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]香村紘一 1995, 厚木市文化財協会 1998 [備]弧形を呈する周溝の一部を検出.

寺ヶ岡遺跡第 2 号周溝(459)てらがおかいせきだい2ごうしゅうこう [群]

(尼寺原地区 37 号墳)

[所]厚木市戸室字寺ヶ岡 843 [立]台地上 [形]円墳? [周]有り [規]径約 19 m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]香村紘一 1995, 厚木市文化財協会 1998 [備]弧形を呈する周溝の一部を検出.

古墳*(460)こふん [群]

(尼寺原地区 34 号墳)

[所]厚木市戸室字仲原 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]1959 年時点ですでに消滅. 厚木高校校庭内古墳 3 基のうち C 号墳.

古墳*(461)こふん [群]

(尼寺原地区 35 号墳)

[所]厚木市戸室字仲原 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(6.0 × 3.0 m [1959 年当時]) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]厚木高校校庭内古墳 3 基のうち B 号墳. 1959 年厚木高校歴史研究部が発掘し, 河原石を並べた上から人骨検出.

古墳*(462)こふん [群]

(尼寺原地区 36 号墳)

[所]厚木市戸室字仲原 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]厚木高校校庭内古墳 3 基のうち A 号墳. 1959 年厚木高校歴史研究部が発掘し, 人骨・須恵器片検出. 小礫が多数あったとされる.

恩名沖原遺跡第 1 次調査 1 号墳(463)おんなおきはらいせきだい1じちようさ1ごうふん [群]

(尼寺原地区 39 号墳)

[所]厚木市恩名字沖原 1582 付近 [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径 8.7 m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]恩名沖原遺跡発掘

調査団 1995, 小山裕之ほか 2000, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998
[備]古墳跡.

恩名沖原遺跡第 1 次調査 2 号墳 (464) おんなおきはらいせきだい1じちょうさ2ごう
ふん [群]

(尼寺原地区 40 号墳)

[所]厚木市恩名字沖原 1582 付近 [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径約 12
m [埋]不明 [副]不明 [伴]土師器坏 1(周溝) [埴]不明 [時]終末期前半?
[文]恩名沖原遺跡発掘調査団 1995, 小山裕之ほか 2000, 厚木市市史編さん室 1998,
厚木市文化財協会 1998 [備]古墳跡.

恩名沖原遺跡第 1 次調査 3 号墳 (464) おんなおきはらいせきだい1じちょうさ3ごう
ふん [群]

(尼寺原地区 41 号墳)

[所]厚木市恩名字沖原 1582 付近 [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径 11.7
m [埋]不明 [副]不明 [伴]土師器長胴甕 1(周溝) [埴]不明 [時]終末期前
半? [文]恩名沖原遺跡発掘調査団 1995, 小山裕之ほか 2000, 厚木市市史編さん
室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]ブリッジを付設する古墳跡.

恩名沖原遺跡第 1 次調査 4 号墳 (465) おんなおきはらいせきだい1じちょうさ4ごう
ふん [群]

(尼寺原地区 42 号墳)

[所]厚木市恩名字沖原 1582 付近 [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]不明
[埋]不明 [副]不明 [伴]土師器坏 2・高坏片 1(周溝) [埴]不明 [時]終末期前
半? [文]恩名沖原遺跡発掘調査団 1995, 小山裕之ほか 2000, 厚木市市史編さん
室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]ブリッジを付設する古墳跡.

恩名沖原遺跡第 1 次調査 5 号墳 (466) おんなおきはらいせきだい1じちょうさ5ごう
ふん [群]

[所]厚木市恩名字沖原 1582 付近 [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径 8.7 m
[埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]恩名沖原遺跡発掘
調査団 1995, 小山裕之ほか 2000, 厚木市市史編さん室 1998 [備]ブリッジを付設す
る古墳跡.

恩名沖原遺跡第 2 地点 1 号墳 (467) おんなおきはらいせきだい2ちてん1ごうふん
[群]

(尼寺原地区 43 号墳)

[所]厚木市恩名字沖原 1566 ほか [立]台地上 [形]円墳 [周]有り [規]推径約
14 m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委
員会 1998, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]周溝の一部検

出.

恩名沖原遺跡第2地点2号墳(468)おんなおきはらいせきだい2ちてん2ごうふん
[群]

(尼寺原地区44号墳)

[所]厚木市恩名字沖原 1566 ほか [立]台地上 [形]円墳 [周]有り [規]推径約
20 m [埋]不明 [副]不明 [伴]土師器坏1, 須恵器高坏片1(周溝) [埴]不明
[時]後期中葉～後葉 [文]厚木市教育委員会 1998, 厚木市市史編さん室 1998, 厚
木市文化財協会 1998 [備]周溝の一部検出. 須恵器高坏はTK10型式並行期.

恩名沖原遺跡第2地点3号墳(469)おんなおきはらいせきだい2ちてん3ごうふん
[群]

(尼寺原地区45号墳)

[所]厚木市恩名字沖原 1566 ほか [立]台地上 [形]円墳 [周]有り [規]推径約
10 m [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委
員会 1998, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]周溝の一部検
出.

古墳*(470)こふん [群]

<K-1>・(飯山地区1号墳)

[所]厚木市橋場 4616 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(5.3 × 3.0 m
[1975年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]歴史
と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]1998年
以前に消滅.

島中古墳(471)はたなかこふん [群]

<K-2>・(飯山地区2号墳)

[所]厚木市飯山字島中 4549 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]
横穴式石室 [副]なし [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]歴史と文化を知る会
1975, 厚木市教育委員会 1976, 井上洋一ほか 1984, 厚木市文化財協会 1998. [備]石
室北東奥部分のみ遺存調査(人骨のみ出土). 墳丘は東側のみ遺存未調査.

古墳*(472)こふん [群]

<K-3>・(飯山地区3号墳)

[所]厚木市飯山字島中 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(2.0 m) [埋]
横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]歴史と文化を知る
会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]石室石材と思わ
れる大形河原石多数露出.

古墳*(473)こふん [群]

<K-4>・(飯山地区4号墳)

[所]厚木市飯山字畠中 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(12.5 × 9.7 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]多量の河原石露出.

古墳*(474)こふん [群]

(飯山地区 15号墳)

[所]厚木市飯山字畠中 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]比較的大形の河原石露出.

古墳*(475)こふん [群]

<K-5>・(飯山地区 5号墳)

[所]厚木市飯山字上松堂 4367 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(4.0 × 3.7 m[1975年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]1998年以前に消滅?.

古墳*(476)こふん [群]

<K-6>・(飯山地区 6号墳)

[所]厚木市飯山字上松堂 4360 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(8.0 × 4.8 m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部 1963a, 歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]石室石材と思われる大形河原石多数露出.

松堂古墳(477)まつどうこふん [群]

(飯山地区 16号墳)

[所]厚木市飯山字上松堂 4356 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]不明 [埋]横穴式石室? [副]直刀3 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]1895年畑中の塚を開き, 人骨等が出土とされる.

古墳*(478)こふん [群]

(飯山地区 7号墳)

[所]厚木市飯山字栗原 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(10.5 × 7.5 m[1975年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]

古墳*(479)こふん [群]

(飯山地区 14号墳)

[所]厚木市飯山字栗原 [立]台地緩斜面 [形]不明 [周]不明 [規]径(約 6 m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文

化財協会 1998 [備]比較的大形の河原石露出.

上久保古墳(480)かみくぼこふん [群]飯山上久保古墳群

(飯山地区 21 号墳)

[所]厚木市飯山字上久保 4328 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明

[埋]不明 [副]無窓鏝付直刀 1, 鉄鏝 12, 刀子 1 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明

[文]厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]大正 8 年, 畑中より遺物のみが発掘されている.

古墳*(481)こふん [群]飯山上久保古墳群

(飯山地区 22 号墳)

[所]厚木市飯山字上久保 4380 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(約 10

m・高 2 m[1963 年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明

[文]厚木高校歴史研究部 1963a, 厚木市文化財協会 1998 [備]消滅. 厚木高校 1963a の久保古墳群B古墳に該当.

古墳*(482)こふん [群]飯山上久保古墳群

<K-8>・(飯山地区 8 号墳)

[所]厚木市飯山字上久保 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(13.0 × 6.5

m[1976 年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚

木高校歴史研究部 1963a, 歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]厚木高校 1963a のD古墳, 歴史と文化 1975 の古墳No. 8 に相当か. 現在は砂利で埋め立てられて墳丘の痕跡は確認できない.

古墳*(483)こふん [群]飯山上久保古墳群

<K-9>・(飯山地区 9 号墳)

[所]厚木市飯山字上久保 4352 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(8.5

× 8.0 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校

歴史研究部 1963a, 歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]厚木高校 1963a のA古墳, 歴史と文化 1975 の古墳No. 10 に相当.

古墳*(484)こふん [群]飯山上久保古墳群

<K-33>・(飯山地区 10 号墳)

[所]厚木市飯山字上久保 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(15.5 ×

15.3 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史

研究部 1963a, 歴史と文化を知る会 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]飯山地区最大規模の古墳か. 厚木高校 1963a のE古墳, 歴史と文化 1975 の古墳No. 9 に相当.

飯山上久保 1 号墳(485)いいやまかみくぼ1ごうふん [群]飯山上久保古墳群

[所]厚木市飯山字上久保 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]横

穴式石室？ [副]丸玉，耳環，鉄鏃 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市市史編さん室 1998，野口浩史 2004 [備]2001年に道路拡幅工事に伴い石室の一部を調査。石室は無袖河原石積み。

飯山上久保2号墳(486)いいやまかみくぼ2ごうふん [群]飯山上久保古墳群
[所]厚木市飯山字上久保 [立]台地上 [形]円墳 [周]有り [規]径約 15 m
[埋]横穴式石室(長 4.0 m) [副]切子玉，琥珀玉，管玉，ガラス製小玉，土玉，耳環，直刀，鉄鏃，刀子 [伴]土師器短頸壺，須恵器横瓶(周溝) [埴]なし [時]後期末葉～終末期初頭 [文]厚木市市史編さん室 1998，野口浩史 2004 [備]2001年に道路拡幅工事に伴い調査(墳丘の東側は調査区外)。石室は無袖河原石積み。

飯山上久保3号墳(487)いいやまかみくぼ3ごうふん [群]飯山上久保古墳群
(飯山地区 12号墳)

[所]厚木市飯山字上久保 [立]台地上 [形]円墳？ [周]不明 [規]径(約 15 m)
[埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市市史編さん室 1998，野口浩史 2004 [備]2001年に道路拡幅工事に伴い周溝の一部を調査。

古墳*(488)こふん [群]飯山上久保古墳群
(飯山地区 13号墳)

[所]厚木市飯山字上久保 4296～4337 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(11.0×5.0 m[1924年当時]) [埋]不明 [副]勾玉 22，管玉，直刀 1，鉄鏃多数，砥石 1 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木高校歴史研究部 1963a，厚木市文化財協会 1998 [備]厚木高校 1963aのC古墳に相当。1924年村民により発掘。消滅。

古墳*(489)こふん [群]
(飯山地区 20号墳)

[所]厚木市飯山字下久保 [立]台地緩斜面 [形]不明 [周]不明 [規]不明
[埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]かつて塚の上に日枝神社の社が建っていたが，後年周囲を埋め立て境内にしたとされる。

古墳*(490)こふん [群]日向原(御所山)古墳群
<T-9>・(七沢地区 1号墳)

[所]厚木市七沢字馬場 758 付近 [立]丘陵上 [形]円墳？ [周]不明 [規]径(約 10×3 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976，厚木市文化財協会 1998 [備]七沢自然保護センター内に現存。

古墳*(491)こふん [群]日向原(御所山)古墳群
<T-11>・(七沢地区 2号墳)

[所]厚木市七沢字馬場 758 付近 [立]丘陵上 [形]円墳？ [周]不明 [規]径(約 10×5 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教

育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]七沢自然保護センター内に現存.

古墳*(492)こふん [群]日向原(御所山)古墳群

<T-10>・(七沢地区3号墳)

[所]厚木市七沢字馬場 758 付近 [立]丘陵上 [形]円墳? [周]不明 [規]径(約 8 × 6 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]七沢自然保護センター内に現存.

古墳*(493)こふん [群]馬場古墳群

<T-14>・(七沢地区4号墳)

[所]厚木市七沢字日向川 244-イ [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]玉川小学校 1950, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998, 『赤星ノート』 [備]消滅. 市史編さん室 1998(P232)によれば, 玉川小学校 1950 には古墳群中 1 基が昭和 11 年に三橋栄によって発掘され, 直刀・勾玉・刀子数十個を出土したとされる. しかし, 氏旧蔵資料には近接の深田古墳群・日向川古墳出土品も混在しており, その内訳は勾玉 7, ガラス小玉 28, 金銅製耳環 5, 直刀 4, 長頸鉄鏃 2・残欠 10, 刀子 3 であるため, 帰属が特定できない. 遺物は現在所在不明.

古墳*(494)こふん [群]馬場古墳群

<T-13>・(七沢地区5号墳)

[所]厚木市七沢字日向川 246-1 付近 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]玉川小学校 1950, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998, 『赤星ノート』 [備]消滅. 市史編さん室 1998(P232)によれば, 玉川小学校 1950 には古墳群中 1 基が昭和 11 年に三橋栄によって発掘され, 直刀・勾玉・刀子数十個を出土したとされる. しかし, 氏旧蔵資料には近接の深田古墳群・日向川古墳出土品も混在しており, その内訳は勾玉 7, ガラス小玉 28, 金銅製耳環 5, 直刀 4, 長頸鉄鏃 2・残欠 10, 刀子 3 であるため, 帰属が特定できない.

古墳*(495)こふん [群]馬場古墳群

(七沢地区6号墳)

[所]厚木市七沢字日向川 243-1 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]玉川小学校 1950, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998, 『赤星ノート』 [備]消滅. 市史編さん室 1998(P232)によれば, 玉川小学校 1950 には古墳群中 1 基が昭和 11 年に三橋栄によって発掘され, 直刀・勾玉・刀子数十個を出土したとされる. しかし, 氏旧蔵資料には近接の深田古墳群・日向川古墳出土品も混在しており, その内訳は勾玉 7, ガラス小玉 28, 金銅製耳環 5, 直刀 4, 長頸鉄鏃 2・残欠 10,

刀子 3 であるため、帰属が特定できない。

古墳 * (496) こふん [群]馬場古墳群

<T-46>・(七沢地区 8 号墳)

[所]厚木市七沢字日向川 252 付近 [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明
[埋]不明 [副]直刀 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会
1976, 神奈川県 1979, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]消滅。
かつて土地所有者が直刀を発掘したが、現在所在不明。

古墳 * (497) こふん [群]馬場古墳群

<T-47>・(七沢地区 9 号墳)

[所]厚木市七沢字日向川 252 付近 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径
(約 5.2 × 4.8 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木
市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]現存。

左近塚 * (498) さこんづか [群]龍鳳寺古墳群

(七沢地区 7 号墳)

[所]厚木市小野字神明前 1201 付近 [立]丘陵上 [形]円墳? [周]不明 [規]径
(約 12 × 11 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]中山
毎吉 1940, 石野瑛 1961, 神奈川県 1979, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協
会 1998, 『赤星ノート』 [備]境内に現存。「境内にも石槨古墳があつて金環二個、銅
釧破片、勾玉四顆、直刀六振が出土した」(石野瑛 1961)との記録があり、かつてこの
古墳群の出土品として龍鳳寺に直刀 7, 金環 8, 銅釧 1, 勾玉 4, 鉄鏃 5 が保管されて
いたが、現在は所在不明。境内にはほかに 7 ~ 8 基存在していたとされるが、多くは
消滅したようである。

古墳 * (499) こふん [群]龍鳳寺古墳群

<T-32>・(七沢地区 19 号墳)

[所]厚木市小野字榎田(龍鳳寺境内付近) [立]丘陵上 [形]円墳? [周]不明
[規]径(約 8 × 5 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]
中山毎吉 1940, 石野瑛 1961, 厚木市教育委員会 1976, 神奈川県 1979, 厚木市市史編
さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998, 『赤星ノート』 [備]境内に現存。「境内にも石
槨古墳があつて金環二個、銅釧破片、勾玉四顆、直刀六振が出土した」(石野瑛
1961)との記録があり、かつてこの古墳群の出土品として龍鳳寺に直刀 7, 金環 8, 銅
釧 1, 勾玉 4, 鉄鏃 5 が保管されていたが、現在は所在不明。境内にはほかに 7 ~ 8
基存在していたとされるが、多くは消滅したようである。

古墳 * (500) こふん [群]龍鳳寺古墳群

<T-33>・(七沢地区 20 号墳)

[所]厚木市小野字榎田 1194 鶏金(龍鳳寺境内付近) [立]丘陵上 [形]円墳?
[周]不明 [規]径(約 8 × 5 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]
不明 [文]中山每吉 1940, 石野瑛 1961, 厚木市教育委員会 1976, 神奈川県 1979, 厚
木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998, 『赤星ノート』 [備]消滅?。「境内
にも石槨古墳があって金環二個, 銅釧破片, 勾玉四顆, 直刀六振が出土した」(石野
瑛 1961)との記録があり, かつてこの古墳群の出土品として龍鳳寺に直刀 7, 金環 8,
銅釧 1, 勾玉 4, 鉄鏃 5 が保管されていたが, 現在は所在不明. 境内にはほかに 7 ~
8 基存在していたとされるが, 多くは消滅したようである.

金井 1 号墳(501)かねい1ごうふん [群]金井古墳群

<T-16>・(七沢地区 10 号墳)

[所]厚木市七沢字金井 13 付近 [立]丘陵裾緩斜面 [形]円墳? [周]不明 [規]
不明 [埋]横穴式石室(長 5.8 m) [副]ガラス丸玉約 100, 金銅鑲 5, 直刀 2, 八窓鏝
1, 無窓鏝 1, 鉄鏃 20 以上, 刀子 1, 須恵器片 [伴]不明 [埴]不明 [時]終末期前
半 [文]西岡秀雄 1936, 玉川小学校 1950, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財
協会 1998 [備]昭和 10 年玉川小学校新築工事に伴い 2 基の円墳?を調査. 石室
は無袖の河原石積みで, 奥壁・羨門両側石が巨大 1 枚岩で構成されるのが特徴.

金井 2 号墳(502)かねい2ごうふん [群]金井古墳群

<T-17>・(七沢地区 11 号墳)

[所]厚木市七沢字金井 13 付近 [立]丘陵裾緩斜面 [形]円墳? [周]不明 [規]
径約 24 m [埋]横穴式石室(長約 10 m) [副]勾玉 1, 切子玉 5, 丸玉 30 以上, 金銅
鑲 1, 刀子残欠, 銀片 [伴]金銅製品, 鉄釘, 須恵器・土師器片(前庭・周溝) [埴]
なし [時]終末期前半 [文]西岡秀雄 1936, 玉川小学校 1950, 厚木市教育委員会
1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]昭和 10 年玉川小学校新築工事に伴い 2 基の
円墳?を調査. 葺石あり. 石室は無袖の河原石積みで, 奥壁・羨門両側石が巨大 1
枚岩で構成されるのが特徴.

久保屋敷古墳(503)くぼやしきこふん [群]

<T-38>・(七沢地区 12 号墳)

[所]厚木市七沢字久保屋敷 [立]丘陵上 [形]円墳 [周]有り [規]径約 20 m
[埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会
1976, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]厚木市市史編さん室
が平成 4(1992)年に墳形確認調査実施(南側墳裾に河原石集中して検出されたが,
横穴式石室ではないとされる).

古墳*(504)こふん [群]

<T-39>・(七沢地区 13 号墳)

[所]厚木市七沢字久保屋敷 [立]丘陵上 [形]円墳? [周]有り [規]径(約 10.6

× 9.7 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]現存.

小野 1 号墳(505)おの1ごうふん [群]小野古墳群

<T-21>・(七沢地区 15 号墳)

[所]厚木市小野字並木 1224 [立]丘陵端 [形]不明 [周]なし [規]不明 [埋]横穴式石室 [副]直刀 3, 鉄鏃 12, 轡 1 [伴]不明 [埴]不明 [時]後期末葉 [文]厚木パークシティ開発地域内埋蔵文化財発掘予備調査団 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]現存. 周溝なし. 石室は半地下式で羨門に大形立石なし. 玄室は「L」字形. 南側側面のみ屈曲形前庭部外開き・北側は直線で開かず. 轡は立聞付素環鏡板.

小野 2 号墳(506)おの2ごうふん [群]小野古墳群

<T-20>・(七沢地区 14 号墳)

[所]厚木市小野字並木 1224 [立]丘陵端 [形]不明 [周]なし [規]不明 [埋]横穴式石室(長 3.0 m) [副]切子玉, 小玉, 金鏃 1, 銀鏃 1, 直刀 2, 鉄鏃 2 [伴]不明 [埴]不明 [時]終末期前半 [文]厚木パークシティ開発地域内埋蔵文化財発掘予備調査団 1975, 厚木市教育委員会 1976, 厚木市市史編さん室 1998, 厚木市文化財協会 1998 [備]現存. 周溝なし. 石室は無袖式で羨門に大形立石なし.

古墳*(507)こふん [群]

<T-48>・(七沢地区 16 号墳)

[所]厚木市小野字神明前 1071 付近 [立]丘陵緩斜面 [形]円墳? [周]不明 [規]径(4.2 × 4.0 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]一部河原石が露出.

古墳*(508)こふん [群]

<T-49>・(七沢地区 17 号墳)

[所]厚木市小野字神明前 1098 付近 [立]低台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(5.0 × 3.2 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]一部河原石が露出.

古墳*(509)こふん [群]小野島残古墳群

<T-23>・(七沢地区 18 号墳)

[所]厚木市小野字中屋 1023 [立]低台地上 [形]不明 [周]不明 [規]径(5.3 × 4.9 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]一部河原石が露出.

小野島残遺跡(510)おのしまのこしいせき [群]小野島残古墳群

(七沢地区 21 号墳)

[所]厚木市小野字島残 702 付近 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径

(4.3 × 4.0 m) [埋]横穴式石室 [副]管玉 2, 白玉 1, 小玉 126, 耳環 3, 直刀 2, 鉄鏃 22, 刀子 1, 鉄鎌 1, 鉄環 1, 須恵器高坏 1・壺 1 [伴]不明 [埴]なし [時]後期末葉～終末期初頭 [文]小山裕之 1997, 厚木市文化財協会 1998 [備]1997年玄室後半部のみ調査後消滅. 石室は無袖式. 明確な周溝検出されず. 須恵器高坏は TK209 型式並行期.

古墳 * (511) こふん [群]小野島残古墳群

<T-26>・(七沢地区 22 号墳)

[所]厚木市小野字島残 694 付近 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径 (6.8 × 5.3 m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]埋葬施設一部露出.

古墳 * (512) こふん [群]小野島残古墳群

<T-28>・(七沢地区 23 号墳)

[所]厚木市小野字島残 702 より東方 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径 (7.1 × 5.5 m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]須恵器片採集(墳丘) [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]一部河原石が露出.

古墳 * (513) こふん [群]小野島残古墳群

<T-29>・(七沢地区 24 号墳)

[所]厚木市小野字島残 692 より東方 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径 (6.7 × 6.1 m) [埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]一部河原石が露出.

古墳 * (514) こふん [群]小野島残古墳群

<T-30>・(七沢地区 25 号墳)

[所]厚木市小野字島残 706 付近 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径 (3.5 × 2.0 m [1975 年当時]) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]1975 年～1998 年間に未調査のまま消滅.

島残 2 号墳 (515) しまのこし 2 号ふん [群]小野島残古墳群

(七沢地区 32 号墳)

[所]厚木市小野字島残 702 付近 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]不明 [埋]横穴式石室 [副]なし [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]1997 年調査後消滅. 玄室の一部検出.

古墳 * (516) こふん [群]小野島残古墳群

(七沢地区 34 号墳)

[所]厚木市小野字島残 693 付近 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径

(8.6 × 4.2 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]砂利状の河原石多量に露出.

古墳 * (517)こふん [群]小野島残古墳群
(七沢地区 35 号墳)

[所]厚木市小野字島残 691 付近 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径 (15.8 × 13.6 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]

島残 4 号墳 (518)しまのこし4ごうふん [群]小野島残古墳群
<T-27>・(七沢地区 36 号墳)

[所]厚木市小野字島残 702 より東方 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径 (5.3 × 4.18 m) [埋]不詳 [副]不詳 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]1997 年調査後消滅.

古墳 * (519)こふん [群]小野島残古墳群
(七沢地区 37 号墳)

[所]厚木市小野字島残 730 と 731 の間 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径 (6.1 × 2.5 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]

古墳 * (520)こふん [群]小野島残古墳群
(七沢地区 38 号墳)

[所]厚木市小野字島残 699 より南方 [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]不明 [埋]横穴式石室? [副]直刀 3 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]神奈川県立厚木高校歴史研究部 1967a, 厚木市文化財協会 1998 [備]関東大震災時に開口し, 石材を片付けた際に直刀が出土したとされる. 墳丘は削平され, 石室石材が放置されている.

島残 3 号墳 (521)しまのこし3ごうふん [群]小野島残古墳群
(七沢地区 44 号墳)

[所]厚木市七沢(伊勢原市日向字新田との市境) [立]低台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]不詳 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]1997 年調査後消滅. 墳丘内より多数の礫を検出したが, 埋葬施設は未確認.

さんせ(三畝)塚古墳 (522)こふん [群]
(七沢地区 26 号墳)

[所]厚木市七沢(伊勢原市日向字新田との市境) [立]台地上 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]横穴式石室 [副]瑪瑙製勾玉 5, 金属釧 4, 直刀 3, 鏢 3, 鉄鏃多数, 刀子 6, 鉄針 1, 鉋 1, 篋形鉄製品 2, 須恵器片 [伴]不明 [埴]不明 [時]終末

期前半 [文]赤星直忠 1975, 厚木市文化財協会 1998 [備]三畝の広さがあることからさんせ塚と呼称されていた。昭和 35 年道路工事用石材採取のため破壊。半地下式らしく、石室は河原石積。石室用石材の一部が遺存。

古墳* (523)こふん [群]

<T-42>・(七沢地区 27 号墳)

[所]厚木市七沢字横畑 1998 付近 [立]台地上 [形]円墳? [周]不明 [規]径 (14.0 × 10.5 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 厚木市文化財協会 1998 [備]大形石材数個露出。

実蒔原 1 号墳 (524)さねまきはら1ごうふん [群]実蒔原古墳群
(七沢地区 29 号墳)

[所]厚木市七沢字実蒔原 353-1 ほか [立]台地端 [形]円墳 [周]有り [規]径約 15 m [埋]横穴式石室(玄室長 2.55 m) [副]碧玉製管玉 9, 琥珀製棗玉 1, ガラス製小玉 65, 耳鐙(素材不詳), 小刀 1, 刀子 3, 鉄鏃 1, 附金具 2 [伴]赤彩土師器坏片(周溝) [埴]なし [時]終末期前半 [文]厚木市文化財協会 1998, 林原利明ほか 2002 [備]石室は河原石積みの無袖式。

実蒔原 2 号墳 (525)さねまきはら2ごうふん [群]実蒔原古墳群
(七沢地区 30 号墳)

[所]厚木市七沢字実蒔原 353-1 ほか [立]台地端 [形]円墳? [周]不明 [規]不明 [埋]横穴式石室? [副]碧玉製管玉 1, 須恵器壺片 1 [伴]不明 [埴]不明 [時]終末期前半 [文]厚木市文化財協会 1998, 林原利明ほか 2002 [備]河原石積みの石室の一部調査。

実蒔原 3 号墳 (526)さねまきはら3ごうふん [群]実蒔原古墳群
(七沢地区 28 号墳)

[所]厚木市七沢字実蒔原 353-1 ほか [立]台地端 [形]不明 [周]不明 [規]径 (約 5.1 × 4.3 m) [埋]不明 [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998, 林原利明ほか 2002 [備]現存。

実蒔原 4 号墳 (527)さねまきはら4ごうふん [群]実蒔原古墳群

[所]厚木市七沢字実蒔原 353-1 ほか [立]台地端 [形]円墳? [周]不明 [規]不明 [埋]横穴式石室? [副]瑪瑙製勾玉 1 [伴]不明 [埴]不明 [時]終末期前半 [文]林原利明ほか 2002 [備]河原石積みの石室の一部調査。

山王塚古墳 (528)さんのうづかこふん [群]
(七沢地区 31 号墳)

[所]厚木市岡津古久字広町 759 より西方 [立]台地端 [形]不明 [周]不明 [規]不明 [埋]不明 [副]瑪瑙製? 勾玉 1 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]明治 2 年に山王塚下の路で勾玉が採集されているが、戦

時中の開墾で墳丘は削平されたとされる。

日向川古墳？(529) ひなたがわこふん？ [群]深田古墳群

(七沢地区 33 号墳)

[所]厚木市七沢字深田 519-2 [立]台地緩斜面 [形]円墳？ [周]不明 [規]不明
[埋]不明 [副]勾玉 2, 直刀 1 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市市史
編さん室編 1998, 厚木市文化財協会 1998, 『赤星ノート』 [備]三橋栄氏が勾玉 1 を
所蔵。ただし、近接する馬場古墳群・深田古墳群出土遺物と混在して所有していた
らしく、帰属はあきらかにできない。現在は他の遺物も含め所在不明。『赤星ノート』
に実測図が残るのみ。厚木市市史編さん室編 1998 において、P184 などの七沢地区
古墳分布図にみられる日向川古墳に該当か。

古墳*(530) こふん [群]深田古墳群

(七沢地区 39 号墳)

[所]厚木市七沢字深田 523 [立]台地緩斜面 [形]不明 [周]不明 [規]不明
[埋]横穴式石室？ [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]歴史と文化を
知る会 1975, 厚木市文化財協会 1998 [備]戦前(?)村人によって発掘されたとされ
る。人頭大の河原石が集積されており、石室石材か。

深田古墳※(531) ふかだこふん※ [群]深田古墳群

(七沢地区 40 号墳)

[所]厚木市七沢字深田 516 [立]台地緩斜面 [形]不明 [周]不明 [規]不明
[埋]不明 [副]※勾玉 7, ガラス製小玉 28, 金銅製耳環 2, 銅製耳環 3, 直刀 4, 鉄鏃
10 数点, 刀子 3 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 神
奈川県 1979, 厚木市文化財協会 1998, 厚木市市史編さん室 1998, 『赤星ノート』
[備]※昭和初期に三橋栄氏が七沢地区 41 号墳とともに発掘し、直刀・小刀・勾玉等
が出土したとされるが、これらの遺物が 40・41 号墳のどちらに帰属するかは不明。さ
らに、氏旧蔵品として『赤星ノート』に実測図がみられるが、これらには近隣の馬場古
墳群・日向川古墳出土品も含まれており、その帰属は不明である。現在出土品は所
在不明。

深田古墳※(532) ふかだこふん※ [群]深田古墳群

(七沢地区 41 号墳)

[所]厚木市七沢字深田 516 [立]台地緩斜面 [形]不明 [周]不明 [規]不明
[埋]不明 [副]※勾玉 7, ガラス製小玉 28, 金銅製耳環 2, 銅製耳環 3, 直刀 4, 鉄鏃
10 数点, 刀子 3 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市教育委員会 1976, 神
奈川県 1979, 厚木市文化財協会 1998, 厚木市市史編さん室 1998, 『赤星ノート』
[備]※昭和初期に三橋栄氏が七沢地区 40 号墳とともに発掘し、直刀・小刀・勾玉等
が出土したとされるが、これらの遺物が 40・41 号墳のどちらに帰属するかは不明。さ

らに、氏旧蔵品として『赤星ノート』に実測図がみられるが、これらには近隣の馬場古墳群・日向川古墳出土品も含まれており、その帰属は不明である。現在出土品は所在不明。

古墳*(533)こふん [群]深田古墳群
(七沢地区 42 号墳)

[所]厚木市七沢字深田 519-3 [立]台地緩斜面 [形]不明 [周]不明 [規]不明
[埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]消滅。戦前の河川改修の際、本墳の石材を使用とされる。

古墳*(534)こふん [群]深田古墳群
(七沢地区 43 号墳)

[所]厚木市七沢字深田 519-2 [立]台地緩斜面 [形]不明 [周]不明 [規]不明
[埋]横穴式石室? [副]不明 [伴]不明 [埴]不明 [時]不明 [文]厚木市文化財協会 1998 [備]消滅。戦前の河川改修の際、本墳の石材を使用とされる。

引用・参考文献

- 赤星直忠『赤星ノート』神奈川県立埋蔵文化財センター所蔵
- 西岡秀雄 1936「神奈川県玉川村横穴式石槨古墳雑記」『考古学雑誌』26-3
- 中山每吉 1940「武相における古道の探求(一)」『史蹟名勝天然紀念物調査報告書』8
- 神奈川県愛甲郡玉川村立玉川小学校編 1950『玉川村実態調査』
- 石野瑛 1961『神奈川県大観5 湘西, 湘北』
- 神奈川県立厚木高校歴史研究部 1963a「久保古墳群」『歴史研究』8
- 飯田孝 1965「厚木市内の遺跡」『歴史研究』10 神奈川県立厚木高校歴史研究部
- 鈴木茂 1966b「厚木市飯山登山古墳群調査報告」『厚木市文化財調査報告書』4
- 赤星直忠 1967「厚木市登山古墳調査概報」『厚木市文化財調査報告書』8
- 神奈川県立厚木高校歴史研究部 1967a「玉川地区古墳調査記」『歴史研究』12
- 神奈川県教育委員会 1970『かながわの埴輪』
- 伊東秀吉ほか 1973『厚木市林王子遺跡予備調査報告書』
- 歴史と文化を知る会 1975『厚木市遺跡分布調査報告書』
- 厚木パークシティ開発地域内埋蔵文化財発掘予備調査団 1975『厚木パークシティ開発地域内埋蔵文化財分布調査報告書』
- 赤星直忠 1975「伊勢原市さんせ塚古墳」『神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告』8
- 厚木市教育委員会 1976『埋蔵文化財分布状況調査』厚木市文化財調査報告書18
- 川西宏幸 1978「円筒埴輪総論」『考古学雑誌』64-2
- 神奈川県 1979『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
- 田辺昭三 1981『須恵器大成』角川書店
- 中村喜代重 1983「厚木市戸室所在の古墳より採集された鏡」『横須賀考古学会年報』26
- 杉山博久 1984「厚木市林天神遺跡」『西相模における古式土師器の研究』(資料編 I) 小田原考古学研究会
- 井上洋一ほか 1984『厚木市飯山島中古墳調査報告』
- 今津節生ほか 1992『登山1号墳出土遺物調査報告書』厚木市教育委員会
- 厚木市秘書部市史編さん室 1993『厚木市史』古代資料編1
- 香村紘一 1995『戸室寺ヶ岡遺跡』
- 恩名沖原遺跡発掘調査団 1995『厚木市恩名沖原遺跡埋蔵文化財発掘調査概報』

神奈川県教育委員会 1995『神奈川県遺跡台帳』
稲村繁ほか 1997『厚木市登山1号墳出土埴輪
修理報告書』厚木市教育委員会
小山裕之 1997『厚木市小野島残遺跡調査概報』
厚木市教育委員会 1998『南毛利の遺跡展』
厚木市秘書部市史編さん室編 1998『厚木市史』
古代資料編2
厚木市文化財協会 1998『厚木の古墳』厚木市
文化財調査報告書38
平本元一 2000『厚木市登山古墳群』『第24回神

奈川遺跡調査・研究発表会発表要旨』神奈
川県考古学会
小山裕之ほか 2000『恩名沖原遺跡発掘調査報
告書』
林原利明ほか 2002『七沢・実蒔原古墳群』
野口浩史 2004『中依知天神1号墳』『平成14年
度厚木市文化財年報 第2号』厚木市教育委員
会